

季節の便り 4月 5月

下 覧 権

- ★ 7月9日、10日に行われるイベントのポスターと実施要領が決まりました。
[同時添付](#)をご覧ください。

千歳サケのふるさと館

- ★ サケの稚魚放流体験 3月1日～5月31日
午前11時と午後2時の一日二回、放流体験を行いました。またゴールデンウィークの5月5日に実施したサーモンフェスティバル（サケの稚魚放流式）には、600人が参加しました。
- ★ チョウザメ採卵・ふ化に初成功
5月16日～18日、北海道大学大学院水産科学研究院の足立伸次教授、美深町の美深チョウザメ館と共同して大水槽で展示しているシロチョウザメ、アムールチョウザメの人工授精を行い、25日に両種とも稚魚がふ化しました。ふるさと館で初めてのチョウザメのふ化成功で、無事育てていきたいと思えます。

とかち帯広サケの会

- ★ 第26回サケ稚魚市民放流祭 5月5日
子どもの日の午前10時から売買川サケのふるさと公園で行われました。好天にも恵まれ家族連れなど約200人が参加して約14,000匹を売買川に放流しました。
放した稚魚は、1月24日に十勝釧路管内さけます増殖事業協会から種卵を受け、

帯広第八中学校の自然観察少年団が「サケふ化場」で育てたものです。その間、サケの会が水源地、ふ化場の整備点検を行ったり、専門家を招き、ふ化管理の指導を受けるなど、管理に万全を期しました。

このふ化場は、学校の近くに流れている良質な湧水を引いて、15年ほど前に建設されました。ふ化場が出来るまでは、人工の池を造成して親サケの“自然産卵”を試みるなど、様々な活動の歴史がありました。

近年は、ふ化場用水の濁水が進んでいたり、設備の老朽化するなどが悩みの種です。サケの会では、ふ化場の水源の確保を行政に働きかけています。

今年は、このほかにも帯広川で市民団体の協力得て放流しました。サケの会員たちは、今後、十勝管内の多くの河川で稚魚放流が行われ、多くの市民が川と関わり、サケや在来魚たちの生息に関心を持ってくれることを期待しています。

なお、平成23年度の活動計画では

①売買川河川環境フィールドワーク（サケふ化・飼育学習会も兼ねる）

②第4回さけまつり

③帯広まちなか歩行者天国（ホコテン）参加（サケ料理を販売）

などの事業を行います。

恵庭市民サケの会

★ 第29回サケ稚魚放流式 4月22日（金）

9時45分から恵庭市南島松の「道と川の駅花ロードえにわ」恵庭大橋河川敷で行いました。前日まで雨が続き、当日の天候が心配されましたが、放流開始までには雨も上がり、無事開催することができました。

当日は、市内小中学校から658名、来賓・会員60名計713名が参加し、1月から市内各小中学校で大事に育てられた稚魚約9,000尾が放流されました。生徒達は、サケの稚魚に名前をつけたり、「元気でね」「頑張ってるね」などと声を掛けながら放流していました。

放流終了後は、河川敷のゴミ拾いを行いました。

大雪と石狩の自然を守る会

★ 第28回サケ出発式 4月3日

秋月橋右岸に約100名の市民が集まり、チカップニアイヌ協議会によるカムイノミの後、会員が育てた500尾のサケ稚魚を石狩川に放しました。

★ 「セイヨウオオハナマルバチ」一斉防除 5月14日

セイヨウ連絡会が主催の活動で、東川羽衣公園に20名が参加し、女王蜂10頭を捕獲する成果を上げました。

- ★ ひぐま大学 入学式 5月15日、 第7講座 5月22日

本年度ひぐま大学が開校になりました。入学式は、27人の 学生も含め37名が参加してときわ市民ホールで行いました。

また、最初の講座として行った第7講座《石垣山、石狩川の講座》には27名が参加。旭川朝8時出発、愛別町の登山口から石垣山を上り、講義を受けながら踏破。下山後はジンギスカンで遅い昼食、比布町の「遊湯びっぷ」で汗を流して講座終了。

- ★ グリーンフォラム旭川 体験入学 4月24日、入学式、例会

入学式に先立つ「体験入学」は突哨山で「自然観察会とイチゴ飴体験」。130名が参加して行われました。5月10日の「入学式」は、フレッシュ感溢れる新入会員40名を迎えて80名が参加して実施しました。続く「例会」は5月22日に70名が春日の森に集まり行いました。「自然観察と山菜調査」そして「食べてしまおう」がお題です。酢みそ和え、天ぷらごま和え等々。全員が満面笑顔の例会でした。

標津サーモン科学館

- ★ 特別展「海と川を旅する魚たち」 4月9日～5月22日

ゴールデンウィークには多くの親子ずれも訪れ、好評の内に終わりました。

- ★ 第20回 サケ稚魚放流式 5月3～5日

稚魚を見送る子ども達の歓声が今年も響いていました。

北海道サーモン協会

- ★ 第3回『青少年サケ学習国際交流事業』として、3月26～4月3日、小中学生12名をカナダBC州へ派遣しました。BDC州の教育委員会が窓口となり、2年ごとに、春休みには日本から、その秋にはカナダから日本へ来ます。子ども達はホームステイをしながら、サケや環境保護についての学習をします。その中で、相互の文化を理解し、友情を育み、別れ、再会では感動的な場面が展開されています。
- ★ 札幌市豊平川サケ科学館が実施した『サケ稚魚体験放流』に協力参加しました。

札幌市豊平川サケ科学館

【1】サケたちの無料エサやり体験

さけ科学館で飼育しているサケの仲間にエサをあげる体験を、4月5回、5月3回行いました。普段、地下から観察している水槽は、実は屋外の池で、魚の大きさに合わせて、異なる粒の配合飼料を食べさせています。

参加者は、気に入った魚に、何回もエサをあげていました。

http://www.sapporo-park.or.jp/blog_sake/index.php/2011/04/16/4057/

【2】カエルのお絵かきをしよう！ 4月23日（土）

さけ科学館で飼育している5種類のカエルたちを間近で観察しながら、スケッチをしました。

手はどんな形かな？もようは何色かな？みんな真剣に描いてくれました。みんなが描いてくれたこのカエルの絵は、本館展示ホールへ展示しました。

http://www.sapporo-park.or.jp/blog_sake/index.php/2011/04/26/4104/

【3】サケ稚魚体験放流 5月3日～5日

今年度も『サケ稚魚体験放流』を無事終えることができました。同時開催のクイズラリーや、ステージイベント、サケの絵をかこうの各コーナーも大盛況でした。たくさんのご参加、ありがとうございました。

また、4日と5日には、北海道サーモン協会のみなさまにもあざやかなピンクのジャンパーを着て手伝っていただきました。どうもありがとうございました。

《サケ稚魚体験放流の参加者》

5月3日（火・祝）13:00～15:00 762人

5月4日（水・祝）10:00～15:00 680人

5月5日（木・祝）10:00～15:00 2,329人

事務局だより

いつまで経っても晴れない梅雨のような天災人災禍の後始末。そんなストレスからでしょうか、ニューズレターの模様替えをすることにしました。また、本号から2ヶ月ごとの『季節の便り』を載せることにしました。

今回は、とりあえず、行事やイベントを行う団体会員にお願い致しました。寄稿頂いた会員のご協力を感謝します。（なお、紙面の都合上一部添削をさせて頂きました。ご容赦下さい。）

これからは皆様から、地域や業務の話題や感想やご意見等もお寄せ頂きたいと願っております。ご協力をお願い致します。